

小型焼却炉

US CHIRIMESER TG-100

ユーエステリメーサーTG-100

株式会社トマス技術研究所

US CHIRIMESER TG-100

完全自動運転！

ごみを投入した後は、自動運転にて消火まで行います。

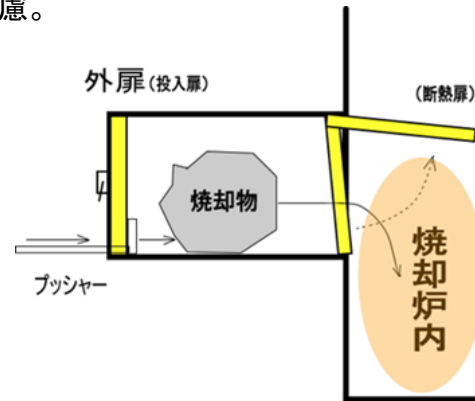
使いやすさと安全性！

●投入時期はパトライトが点灯

投入時期はパトライトの点灯でお知らせ。

●投入口は二重扉の安全構造

安全性を考慮。



焼却物投入方法

1. 外扉（投入口）を開き内扉（断熱扉）の手前に焼却物を置きます。
2. 次に外扉（投入口）を閉め、プッシャーを押しながら内扉（断熱扉）を開き焼却物を焼却炉に投入。
3. 内扉（断熱扉）を閉めて完了。
火を見ることもなく安全に作業が行えます。

●始動から終了までボタン一押し

●コンピューターによる燃焼制御

お客様の要望に合わせて燃焼プログラムを入力。
最小の経費で最大の効果を発揮します。

●煙を出さない

タイヤ単独の焼却においても、煙は出ません。

●超低ダイオキシン

燃焼温度を自動制御し、ダイオキシン類を高温で熱分解！

●電源は三相 200V※2

●燃料に灯油を使用

●水道水

焼却炉内の燃焼制御に使用します。※3

※1 終了停止動作への移行は通常 30 分で設定しておりますがお客様の使用環境に合わせて変更可能。

※2 単独での電源（ブレーカー）が必要

※3 一般の水道水圧が必要



焼却物投入

ボタン押し(着火)

パトライトが点灯したら
焼却物追加投入

パトライトが点灯し30分間
放置で終了停止動作へ※1

終了

絶対ダメ！ごみの野焼き

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」において、基準に適合した焼却炉以外でのごみの焼却は禁止されています。命令や指導に従わない悪質な場合は、法律で、五年以下の懲役または一千万円以下の罰金、法人については3億円以下の罰金が適用されることもあります。



野焼き



ドラム缶での野焼き

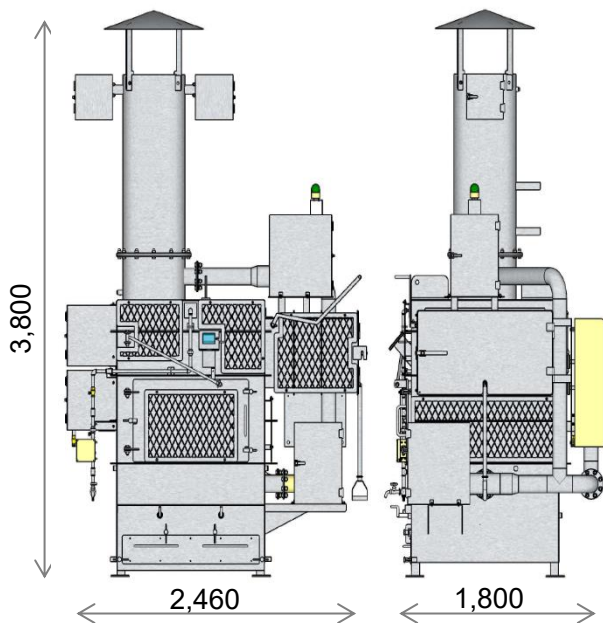


一斗缶での野焼き

基準に適合した小型焼却炉の構造基準

1. 空気取入口及び煙突の先端以外に焼却設備内と外気が接する隙間がなく、燃焼ガスの温度が摂氏 800℃以上の状態で廃棄物を焼却できるものであること。
2. 燃焼に必要な量の空気に通風が行われるものであること。
(十分な高さ及び口径の煙突を設置する)
3. 外気と遮断された状態で廃棄物を定量ずつ燃焼室に投入することができるものであること。
(ガス化燃焼方式の焼却設備など構造上やむを得ないと認められる場合を除く)
4. 燃焼室中の燃焼ガスの温度を測定するための装置が設けられていること。
5. 燃焼室中の燃焼ガスの温度を保つために必要な助燃装置が設けられていること。

【外観図】



【主な焼却物】



オフィスごみ



木材



飼料用梱包ビニール



農業用マルチビニール



廃タイヤ



その他廃プラスチック類

【仕様】

型 式	TG-100
処 理 能 力	混合雑介：90Kg/h以下(ごみ袋50袋程度) 廃プラスチック類：20Kg/h以下(ごみ袋10袋程度)
火 床 面 積	1.00m ² (火格子面積：0.96m ²)
外 形 寸 法	幅1,800×奥行2,460×高さ3,800
投 入 口 寸 法	450mm×1,000mm
電 源	AC200V
電 気 容 量	2.0kw
燃 料 消 費 量	4~16L/h (ごみ質・投入量により変動あり)
本 体 重 量	3,400kg
処 理 可 能 物	一般ごみ・生ごみ・廃プラスチック類・廃タイヤ・木材 等

お問い合わせ

研究開発・設計 (株)トマス技術研究所

〒904-2311

沖縄県うるま市勝連南風原 5192-42

TEL:098-989-5895 FAX:098-989-5896

- ・このパンフレットで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。
- ・仕様及び記載内容は事前の予告なしに変更することがあります。